

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 3月 29日

事業所名 おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマート名護やぶ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	0	配置を考えている	利用定員、活動内容によってはスペースが不十分時もある。配慮し指導している
	2	職員の配置数は適切である	0	4	0	求人募集している	有資格者の人手不足である
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	0	0	適切にされている	段差はなく平坦な室内になっている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	職員同士で意見交換しながら行っている	職員が意見を出し合う事が必要である
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	0	保護者の意見を取り入れながら業務改善している	保護者の意向を業務改善につなげていけるよう、職員間で連携している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	0	事業所の会報を公開している。	毎年、自己評価をおこない、ホームページ等で公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	0	外部からの評価結果をふまえて意見交換している	今後、第三者の意見を聞きながら業務改善につなげていきたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	0	0	4	研修を受けて実践できるよう心がける	管理者研修、職員研修等、同事業所での研修などあり充実している
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	スタッフで話し合いをもち計画している。	アセスメント職員同士意見交換する必要がある
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0	定期的に行っている	適応行動は常に職員同士意見交換だし、話し合う必要がある
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	職員同志共有している	その子どもにあった出来る事をのばしていきけるように支援する
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	職員同士が意見交換をおこなっている	利用者に適している、楽しめるようなプログラムを職員で話し合い考え工夫している
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	0	0	イベントに参加したり、地域連携をとっている	長期休暇等、充実し過ごせるように課題決め等をしている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	その子どもにあったプログラムを作成する	個別活動と集団活動を分けておこなっている
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	役割を与える事で責任感がでる	本日の活動、送迎等、事前に打ち合わせし担当者等を決め、職員間で情報共有をしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	0	振り返りを適切におこない共有する	緊急内容等は、その日で共有したり、朝のミーティングで共有している
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0	支援記録等を検証し改善につなげる	日々の支援記録をもとに様子を観察している
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	定期的にモニタリングを行い見直しをおこなう	新しい事にも挑戦している	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	0	基本活動をふまえてできる事をふやしていく活動も考えて	ガイドライン基本活動を行っている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	4	0	0	児童発達管理責 任者が参加して いる	子供にあった適切におこなっている。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	4	0	0	送迎時に連絡・ 確認等適切に対 応している	トラブルが発生した時には緊急時に応じて 適切に対応している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	0	4	0	受け入れる際は 連絡体制を整え 支援していきたい	現在、医療的ケアが必要な利用者はいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	0	4	0	相互理解に努め る	お互いに情報を共有しながら相互理解して いる
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	4	0	0	移行する際は支 援内容、情報提 供を行う	自立できる様に指導している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	4	0	0	専門家の意見を 参考にしながら 実践する	研修して、すぐに実施していけるようにする
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0	0	公園で他の保育 園児との交流を している	同事業所内での交流は定期的にあるが、今 後、色々な交流などを検討したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	4	0	0	今後、機会あれ ば積極的に参加 する	イベントに参加したり、積極的に参加してい る
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	今後活動する機 会を計画してい きたい	発達状況も職員が知る事が大切である
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4	0	0	ペアレント・トレ ニング等の支援、相談が あった際には対応し ている	職員も積極的に研修して参加することが大 切である
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	4	0	0	支援内容等、子 どもにあったこ とを支援している	契約時など、説明を行っている。その都度気 になる事があれば対応し説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	0	0	4	保護者等から相談 あった際には助言 し支援をおこなっ ている	相談員に話をしながら意見交換をしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	4	0	0	保護者会は、職 員も参加する必 要がある	保護者会等、現時点では開催されておら ず、今後、保護者同志の連携を支援する取 り組みも考え保護者会を開催したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	4	0	0	苦情があった際 には職員間で共 有し適切に対応 している	クレーム対応には気をつけている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	0	0	予定表や、だより 等で発信してい る	予定表やだより等を発行して情報を発信、そ の都度対応事項等あれば、お知らせにて発 行している
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	秘守義務を守っ ている	個人情報には、十分に配慮している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0	日頃から送迎時等 に日々の様子を共 有している	常に今日の出来事は発言している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	4	0	0	地域のイベント等 があったりした際 には積極的に参 加している	地域のイベントに参加しながら、連携をとっ ている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0	研修等で周知したり、マニュアル等を作成し、見えやすい場所等においている	緊急マニュアル対策を研修しながら行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	日頃から対応出来るように基礎知識をみにつける	防災訓練は半年か、年一回おこなっている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	月に一度研修会を確保し対応している	虐待防止対策は職員も資料研修を行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	0	身体拘束等を行う際は十分に説明し理解を得る	十分理解したうえで日頃から、研修マニュアルをよんでいる
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0	研修資料を読んでいる	事業所内での研修や、マニュアルで対応ができるよう、日頃から基礎知識をみにつけるよう努める
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	ヒヤリハット記入し情報共有し改善につなげている	何が起こるかかわからないので、その場で対応している